

2013年11月7日
一般社団法人 日本化学工業協会

c LCA*ガイドライン グローバル版 「GHG 排出削減貢献に対する意欲的な取り組み」発行

一般社団法人日本化学工業協会（会長：高橋恭平 昭和電工株式会社会長 以下、日化協）は、このほど「GHG 排出削減貢献に対する意欲的な取り組み」を発行いたしました。

本冊子は、温室効果ガス（GHG）排出削減貢献量の評価・報告において更なる透明性・一貫性を高めるための実践的ガイドラインであり、2012年2月に日化協が発行した「CO₂ 排出削減貢献量算定のガイドライン」をもとに、ICCA（国際化学工業協会協議会）とWBCSD（持続的可能な開発のための世界経済人会議）の化学セクターが共同で編集し、今年10月に発行したものの日本語版です。

なお、編集には世界で標準化作業の経験を持つ専門家も加わり、LCA（ライフサイクル評価）のISO規格をベースとし、さらにGHGプロトコルやカーボンフットプリントの先進的な規格・仕様書との整合も図りました。

自社製品のGHG排出削減貢献量の算定や管理、及びステークホルダーとコミュニケーションを図りたいとお考えの化学企業はもちろんのこと、地球温暖化問題を研究するアカデミアや官庁の皆様にとっても非常に有用な冊子となりますので是非ご活用ください。

なお、本冊子は日化協ウェブサイトのエネルギーと気候変動>日化協出版物よりダウンロード可能です。

URL: http://www.nikkakyo.org/upload_files/global_warming/publish.html

「GHG 排出削減貢献に対する意欲的な取り組み」（日本語版）概要

発行：一般社団法人日本化学工業協会

編集：ICCA、WBCSD 化学セクター

体裁：A4版、44ページ

内容：

エグゼクティブサマリー

1 序文

目的／作成の経緯／使用推奨者／

既存の規格・ガイドラインとの関係／本文書のガイドラインの限界

2 原則

3 GHG削減貢献量の算定ガイドライン

4 バリューチェーンパートナーとのGHG排出削減貢献量の配分

5 報告ガイドライン

6 附属書

報告テンプレート／用語集／参考文献

7 別紙

本ガイドライン和訳についての留意事項／ガイドライン事例



<ご参考>

cLCA(carbon Life Cycle Analysis)：カーボンライフサイクル分析

GHG排出量のみに限定し、化学製品を使用した完成品と比較製品がそれぞれに原料採取から廃棄までのライフサイクル全体で排出するGHG排出量の差の分を排出削減量として算出する手法。

《本件に関するお問い合わせ先》

一般社団法人 日本化学工業協会 広報部 高橋・高水 TEL:03-3297-2555